

レッスン10

A. お祈りの暗唱と暗記

始めのお祈りの後、子どもたちはレッスン9で習い始めたお祈りの暗記を続けます。

B. 歌(すでに習った歌の復習を含む)

「感謝と賛美を」

『一つの海の波』CD、5番

*〈繰り返しの部分〉

感謝と賛美を 慈悲の冠 わが頭に

置きたもうた 神に 捧げます

*(繰り返す)

感謝と賛美を わが心に 愛と知識を

植えつけてくださった 神に 捧げます

*(繰り返す)

(一音上げる)感謝と賛美を わが眼を輝かせる 真理の

光授けたもうた神に 捧げます 捧げます 捧げます

C. 引用文の暗記

ここで暗記するこの引用文は、子どもたちに以下のように紹介することができます：

私たちは、どんなに小さなプレゼントでも、それをくれた人にお礼をいいます。ですから、私たちを見守ってくれる目、愛してくれる心、成長できるような世界を創造したことなど、たくさんの贈り物や恩恵をくださった神様にはもっともっと感謝しなければなりません。アブドル・バハは、神様がくださったたくさんの恩恵に対して、そして神様の愛で私たちの心をいっぱいにしてくださっていることに対して感謝しなければならないとおっしゃいました。私たちはいつも、たとえ困っているときでも、神に感謝しなければなりません。神様に感謝すると、神様の限りない恩恵をもっともっと受けとることができます。次の引用文を暗記しましょう。

幸せでありなさい。感謝^{かんしゃ}しなさい。神に感謝するために立ち上がれば、
その感謝の気持ちはさらなる恵^{めぐ}みをもたらすでしょう。¹¹⁰

下記の文章は引用文の説明に役立つでしょう。

<立ち上がる>

1. サルマちゃんは、長いこと病気だったおばあちゃんがベッドから立ち上がり、散歩に出るのを見て、嬉しくなりました。
2. 子どもたちは、昼食の後、畑の作業を手伝うために立ち上がりました。

<さらなる> =もっと多くなること

1. 去年、マリアちゃんの学校には先生が5人しかいませんでした。今年、8名の先生がいます。先生数はさらに3人多くなりました。
2. シャヤン君は幸せな子です。シャヤン君は他の人たちを助けた時はもっと幸せになります。他の人を奉仕するとき、彼はさらに幸せになります。

<もたらす>

1. ナディアちゃんはいつも清潔にしています。彼女は、清潔は精神的な成長にとって大切だということを知っています。清潔は精神性をもたらします。
2. セフ君の家族は協力し、家族の大切な問題でお互いに助け合います。家族みんなが協力するので、仲良く暮らしています。協力は調和をもたらします。

D. お話

ある時、お金持ちの女性がアブドル・バハに会うため、遠くから聖地にやって来ました。女性は自分の小さな問題ごとを次から次に、長々とアブドル・バハに話し始めました。アブドル・バハは別の約束で呼び出されるまで、かなりの時間、忍耐強く、親切に彼女の話を耳を傾けられました。しかし、アブドル・バハはその女性と別れる前に、窓の外を歩いていた紳士を指差して、「あなたに会ってほしい人がいるので呼びましょう。彼の名はミルザ・ハイデル-アリといいます。彼は地上を歩いているながら天上に住んでいます。彼はたくさんの問題を抱えています。それらについてあなたにお話しするでしょう」と言われました。

ミルザ・ハイデル-アリは実際たくさんの困難を抱えていました。彼はペルシャの出身です。その国では、バハイ信者が不当に扱われ、とてもいじめられています。ある人は逮捕され、不当に投獄され、またある人たちは憎しみと怒りに満ちた人々によって殴られています。ミルザ・ハイデル-アリの人生に降りかかった苦難のすべてを聞くとあなたはとても悲しくなるでしょう。

アブドル・バハはミルザ・ハイデル-アリを呼びに行き、女性のお客さんに引き合わされました。彼を彼女に紹介して、アブドル・バハは出て行かれました。ミルザ・ハイデル-アリはすぐに、とても嬉しそうに、謙虚に、自分たちの生きているこの素晴らしい時代とこれ

から続く神の祝福のすべてについて、彼女に話し始めました。その女性はちょっとした間、聞いていましたが、話の途中でイライラして、話を遮りました。「だけど、アブドル・バハは、あなたご自分のかかえる困難について話すだろうとおっしゃったわ」と言いました。ミルザ・ハイデル-アリは当惑したように顔をあげて、「困難？」と答えました。「私にはなんの問題もありませんよ。困難ってなんのことか、私には分かりません」と答えました。ミルザ・ハイデル-アリは確かに大変な困難を経験しているけれど、それに煩わされるようなことは決してなく、ただ、神様があたえてくださった全ての祝福の方だけを見、それに感謝するということを、もちろん、アブドル・バハはご存知だったのです。

E. ゲーム：素早い合図

子どもたちは手をつないで輪を作ります。まず、皆で同時に左の手をぎゅっと握り、次に右手をぎゅっと握る練習をします。それから、一人の子が片方の手でとなりの子とつないだ手をぎゅっと握りしめて合図を送り、その合図を受けた子が次の子に合図を送ります。こうして次々と合図を伝え、最初の子のもう一方の手に合図が戻って来ます。その合図が一周する時間を測って、どんどん速くなるように促します。このゲームの仕方を覚えたら、今度は反対方向にその合図を送るようにするか、またはぎゅっと握る合図の回数を増やしましょう。

F. ぬり絵 10

G. 終わりの祈り



しあわ
幸せでありなさい。かんしゃ
感謝しなさい。かみ
神に感謝するために立ち上がれば、
その感謝の気持ちはさらなるめぐ
恵みをもたらすでしょう。